

平成6年度ISIJ外国人研究員選考結果

本会では、戦後多くの若手研究者が欧米の奨学金制度で渡欧・渡米して研鑽に励む機会に恵まれたのに対し、諸外国の若手研究者が来日して研鑽に励む制度がまだ不十分と考えられること、最高の科学技術教育を受け、将来を嘱望されている若手研究者が来日し、ともに研究と討論を重ねることが日本の若手研究者の良き刺激にもなり、国際交流ひいては世界の鉄鋼業の発展に寄与しようとの考えにより、平成6年度より「外国人研究員奨学」制度を設置し、招へいを開始いたしました。

本誌昨年1月号で募集を会告し、2月に申請を受け付け、申請の候補者を選考しました結果、次の1名を招へいすることに決定しましたので、お知らせいたします。

外国人研究員氏名(所属)： Zhang Sanhong (北京科学技術大学材料物理学科助教)

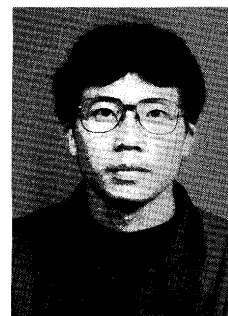
受入れ研究者氏名(所属)： 榎本 正人 (茨城大学工学部物質工学科教授)

研究課題名： セラミックス/オーステナイト界面におけるフェライトの核生成

招へい期間： 平成7年3月から平成8年2月まで(12か月)

本年3月より1年間、ISIJ外国人研究員として、北京科学技術大学材料物理学科の章三紅助教(Dr.Zhang Sanhong)が茨城大学工学部物質工学科に滞在しています。博士はあの毛沢東主席と同じ湖南省長沙の出身で、武漢大学の物理学科を1984年に卒業し、北京科学技術大学(USTB)で1992年に学位を取得されました。これまでの研究分野は、鉄-シリコン、および鉄-ニッケル合金の再結晶粒界におけるボロン偏析と、低合金ベイナイト鋼のマイクロ組織などで、1992年に学位研究の優秀賞、1994年には北京金属学会から論文賞を受賞しています。

日本に来てからの第一印象は、景色がきれいなことと、周囲の人が親切なことだそうです。いままで海を間近に見たことがないので、新しい気分になっているそうです。現在、1~2ヶ月で日本語が話せるように、また、研究テーマである介在物(セラミックス)上のフェライト核生成の研究計画の立案に忙しい日々を送っています。趣味は碁やバドミントンです。日本では多くの研究者の方と友達になりたいとのことでした。



●第25回日向方斉学術振興交付金の希望者募集案内●

▶ 申込締切日・平成7年8月31日(木) ◀

本会では住友金属工業株式会社から当時の取締役会長日向方斉氏の功績記念のため寄贈された金六千万円の資金をもって鉄鋼関係学術振興のため「日向方斉学術振興交付金制度」を設置して、若手研究者の海外国際会議への渡航費、参加費等の補助金として、延べ103名を支援して来ました。

最近では、鉄鋼研究振興助成金制度(1992年新設)を活用して国際会議で発表するケースや鉄鋼関連研究者の絶対数の減少、円高による海外渡航の容易化もあり、応募者は漸次減少傾向にありました。

リストラ80で決めた「時代のニーズに沿った助成事業への変更」を受け助成委員会は、本基金の趣旨「国際的学術交流の支援」にも沿った新事業として「本会が主催する「国際会議」の助成」と決めました。

平成8年度に発足させるための準備に入りましたので、出来るだけ早い時期に本誌に会告致します。

したがって、従来内容で最後となる今回は、項目3.対象国際研究集会の期間を、本年度内開催(平成7年10月から平成8年3月まで)としておりますのでご注意ください。

希望者は所定の申請書を本会にご請求の上、応募して下さい。

1. 本制度の目的

大学、研究機関等にいる鉄鋼関係の若手研究者が海外で開催される国際研究集会(これに準ずるものを含む)に優れた研究成果を発表するために必要な渡航費等を支弁することを目的とする。

2. 応募資格

1) 国公立の大学、工業高等専門学校または国公立研究機関(特殊法人を含む)に在職中または在学中の本会会員(正会員、学生会員)で、2) 国際研究集会の開催時の年齢が40歳未満でありかつ、3) 本会会誌またはその他の学術的刊行物に研究成果の発表をしたことのある者。ただし、過去5年間に本交付金を受領した者は除く。

3. 対象国際研究集会

平成7年10月から、平成8年3月までに開催される国際研究集会で

技術分野は、本会が春秋に行っている講演大会の範囲の集会、なお原則として同一の国際研究集会に複数名は出席できない。また、日本の他の学会が海外で主催する国際研究集会は対象としない。

4. 支弁する交付金の内容

1) 航空運賃(制限つきエコノミー料金〔Y2〕の30%)、2) 滞在費(集会開催日の前日から終了日の宿泊まで)、3) 参加登録費

5. 申請方法 本会所定の申請書様式により本人が申請する。

「記入内容の概略」

1. 住所、氏名、生年月日、所属職名、正会員・学生会員の別
2. 過去の研究業績(本会会誌またはその他の学術的刊行物への投稿論文、共著者名記載)
3. 出席する国際研究集会の名称、主催者、会期、開催地
4. 発表する論文の主な内容(共著者名記載)
5. 参加資格(座長、招待講演者、一般講演者等の別)
6. 必要経費の概算額
7. 他機関への旅費等の申請の有無
6. 交付件数 4件以内
7. 受給者の義務
 1. 出席報告書の提出(原則として会誌「鉄と鋼」に掲載)
 2. 発表論文(写)の提出
 3. プロシーディングスの本会への寄贈
8. 申請書様式請求先及び申請書提出先
〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
(社)日本鉄鋼協会 総合企画事務局 TEL(03)3279-6021
9. 申請書締切日 平成7年8月31日(木)
10. 交付決定通知

交付決定者には平成7年9月末日までに通知し、本会会誌に氏名、発表する国際研究集会名を掲載する。